

FM財務評価手法研究部会

『FM財務評価ハンドブック 2020』の概要

部会長 **大山 信一**
 おおやましんいち

三井住友建設株式会社
 サステナビリティ推進部長
 認定ファシリティマネジャー



はじめに

2020年3月に発行した『FM財務評価ハンドブック 2020』の概要をご紹介します。

FM財務評価ハンドブックの歴史

FM財務評価ハンドブックの初版はFM財務評価手法の普及を目的として、FM財務セミナーのテキストを精選し2000年に発行された。その後、2003年には『総解説 ファシリティマネジメント』が発行されたことを受け、内容の一部を改訂した2003年版が発行された。同様に2009年には『総解説 ファシリティマネジメント 追補版』が発行されたことを受け、内容の一部を改訂した2009年版が発行された。今回の改訂は2018年に『公式ガイド ファシリティマネジメント』が発行されたことを受けて改訂作業に着手し、2020年3月に発行に至ったものである。

改訂のポイント

(1) 章の構成を変更し、第1章を第2章以降の内容を理解する上で必要となるFM財務評価に必要な基礎知識を解説する導入部として位置付けた。第2章から第4章は従来の内容を踏襲しつつ、「公式ガイドファシリティマネジメント」との整合を図った。

(2) 第5章は「ライフサイクルコスト評価」を独立した章として追加した。

『FM財務評価ハンドブック 2020』の概要

(1) 第1章は「FM財務評価の基礎知識」として、FMにおける財務評価の役割、企業財務とFM、FMの財務評価と経営への貢献、企業会計の基礎知識、などを解説している。

(2) 第2章は「ファシリティコスト評価」として、ファシリティコスト管理会計、MNコストチャート、ファシリティコスト削減施策、などを解説している。

(3) 第3章は「施設資産評価」として、FMの対象となる施設資産、施設資産評価の重要性、ポートフォリオ分析、などを解説している。

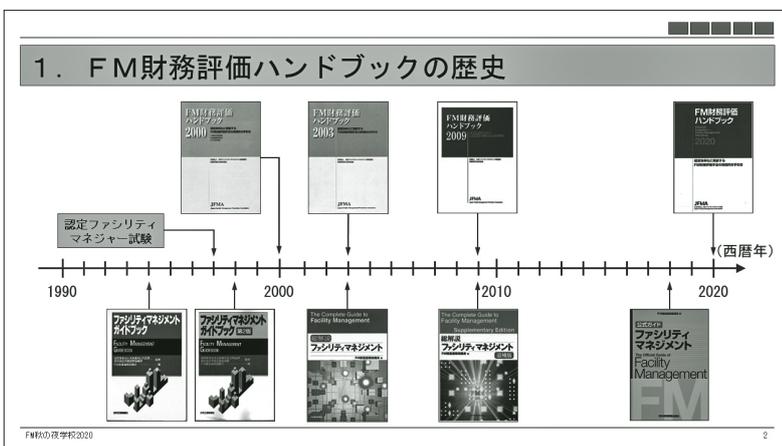
(4) 第4章は「施設投資評価」として、施設投資評価の目的、4つの施設投資評価手法、資本コスト率、目標利益率と投資判断、などを解説している。

(5) 第5章は「ライフサイクルコスト評価」として、ライフサイクルコスト、ライフサイクルマネジメント(LCM)のプロセスと保全費用、残存不具合額の算出、などを解説している。

おわりに

『FM財務評価ハンドブック 2020』をテキストとしたFM財務評価セミナー(Web配信方式)も実施している。『FM財務評価ハンドブック 2020』をより良いものにすべく、多くのFM関係者にご利用いただき、ご意見をいただければ幸いです。◀

FM財務評価手法研究部会



図表 FM財務評価ハンドブックの歴史

